

沖縄県医師会の取り組み うりずんフェスタ 事業報告

沖縄県医師会
令和7年7月29日



沖縄県の健康課題と背景

- ① かつて長寿県と呼ばれた沖縄県ですが、近年、健康指標の悪化が止まらない
 - － 平均寿命（2020年 厚労省）
男性：43位／女性：16位
 - － 健康寿命（2022年 厚労省）
男性：45位／女性：46位
 - － 職場の定期健康診断有所見率：70.8%(労働局)
(全国58.9%)
- ② 特に65歳未満の健康状態・死亡率が悪化

うりずんフェスタ

- うりずんフェスタは、沖縄県医師会が主催し、沖縄県が共催するイベントです
- 本イベントは、かつて「長寿県」と呼ばれた沖縄県の健康状態、特に65歳未満の男女の健康状態と死亡率が悪化している現状を打開するため、2017年（平成29年）に立ち上げた「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト」の一環として実施しております
- 特に高血圧対策を効果的に行うためのポピュレーションアプローチとして位置づけております

うりずんフェスタ

- イベントの目的は、主に働き盛り世代である65歳未満県民（特に30-64歳）をターゲットに定め、その年齢層が関心を持つイベント内容を企画し、来場者自身の健康に対する興味を促し、能動的な生活習慣の改善のきっかけを与える
- イベントは「おいしく、たのしく、ちゃ〜がんじゅう」をテーマに働き盛り世代の関心の高い「グルメ・食」や「健康」といったテーマと健康をミックスさせ、ターゲット層の関心からアプローチすることを目指す。また参加・体験型要素や、ゲーム感覚で楽しめるプログラムも取り入れる工夫を行っている

第4回うりずんフェスタ 開催概要①

日時: 令和7年2月9日（日） 10:00-16:00

場所: 沖縄県医師会館（屋外・屋内全エリア）
屋外特設ステージも設置

目標参加者数: 3,000人以上

過去の開催実績：第1回 1,756人(平成29年4月)
第2回 2,383人(平成31年3月)
第3回 2,741人(令和 6年3月)

EVENT SCHEDULE

屋外特設ステージ

- 10:00-10:30 オープニングセレモニー
- 12:00-13:00 「がんじゅうさびら表彰」表彰式
- 13:00-14:00 アクターズスクールダンスパフォーマンス
- 14:00-15:00 沖縄県立芸術大学音楽生演奏
- 15:00-15:30 カラフルコーラス
- 15:30-16:00 バネ人間 (YouTuber)

屋内EVENT (3階)

- 10:30-12:00 FEC オフィス (お笑い・かかりつけ医)
- 10:30-16:00 ピーチフィットネス (筋トレ指導等)
- 13:00-16:00 BRAVO (スポーツアミューズメント)
- 13:00-16:00 名桜大学ヘルスサポート (体験型健康測定コーナー)



Instagramで店舗情報も発信中～！

FOLLOW ME!

@urizun.festa



主催・問い合わせ

沖縄県医師会・沖縄県

沖縄県南風原町字新川 218-9

TEL.098-888-0087

www.okinawa.med.or.jp

MAP



おいしく、たのしく、ちゃ～がんじゅう

URIZUN FESTA

うりずんフェスタ

VOL. 4



2025
2/9
SUN

VENUE
沖縄県
医師会館

GUIDE MAP

第4回うりずんフェスタ会場風景



うりずんフェスタ 開催概要②

- ① **多彩なプログラム:** 高い集客率を誇る飲食店や豊かなライフスタイルを提案する店舗の出店(39店舗)
- ② **音楽とエンターテイメント:** (アクターズスクールのダンス、沖縄県立芸術大学の生演奏、カラフルコーラスの合唱、バネ人間(YouTuber)のパフォーマンスなど)
- ③ **体験型健康プログラム:** 会場各所(屋外、会館内1階、2階、3階)に、参加・体験型の健康ブースや健康に関する展示エリアを設けた

うりずんフェスタ 開催概要③

＜体験型健康プログラム＞

- ① 血圧測定(市町村・国保連合会職員による)
- ② がん教育サポートやピンクリボン沖縄による啓発活動
- ③ 沖縄こどもの国 出張出前講座
- ④ 次世代の健康教育副読本の啓発
- ⑤ 国保連合会職員による食事指導
- ⑥ 栄養士会による食事バランス指導や食育SATシステムの運用
- ⑦ 歯科医師会によるお口の健康に関するブース
- ⑧ 薬剤師会によるお薬相談会
- ⑨ マイナンバーカード登録、健康アプリ紹介
- ⑩ ボディペイント、チャリティネイル
- ⑪ 健康測定(大学生協力)
- ⑫ フィットネス体験(ピーチフィットネス)
- ⑬ アミューズメントスポーツ(BRAVO)

うりずんフェスタ 開催概要④

④スタンプラリー

健康ブースへの参加者に商品をプレゼントする企画を実施(血圧測定は必須)

⑤特別イベント

FECオフィス(お笑い芸人所属事務所)とのコラボレーションによる健康に関するコント(かかりつけ医普及)と、タレント・医師会関係者によるトークセッション

イベントの周知・広報活動

- ターゲット層を意識した多様な媒体活用
 - － フライヤー配布
(医療機関、地区医師会、出店飲食店、行政機関
(県庁や役場・保健所)・学校等)
 - － Instagram を活用したSNSでの周知
 - 出店店舗・準備風景などを投稿(登録者:約1,100人)
 - 特に Instagram は、出店店舗からの発信が知るきっかけとして、最も多かったという結果も出た(37%)
 - － ホームページ、プレスリリース、新聞掲載など

開催実績

- 目標であった来場者数3,000人を大幅に超える3,471人が来場し、盛況のうちに終了した
- イベントを通じて、来場者に「血圧測定」の重要性や「食」、「生活習慣」の大切さなど、より健やかなライフスタイルについて伝えることができたと考えられる

まとめ①

- 目標であった来場者数3,000人を大幅に超える3,471人が来場し、うち623人に血圧測定が実施できた
- 血圧測定者623人のうち、基準値が404人、Ⅰ度が148人、Ⅱ度が58人、Ⅲ度が13人であった
- 特に異常値を示した参加者には、保健指導や医療勧奨を行った
- 自身の健康状態、特に血圧への気づきを促し、必要に応じて専門的な介入へ繋げることを意図した取り組みが実施できた

まとめ②

- 本県の健康課題克服に向け、うりずんフェスタがポピュレーションアプローチとして有効
- ターゲット層に合わせた、多様なプログラム（グルメ、エンタメ、体験型）を展開
- SNS活用・店舗連携による効果的な周知
- 県民の健康意識向上、行動変容促進に寄与
- 今後も継続的に健康イベントを推進